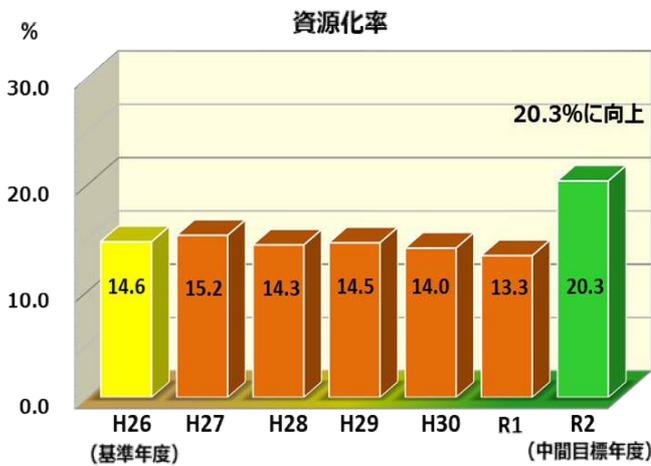
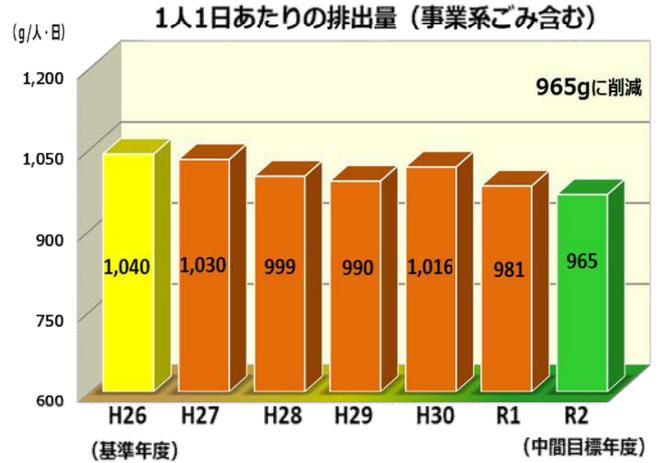
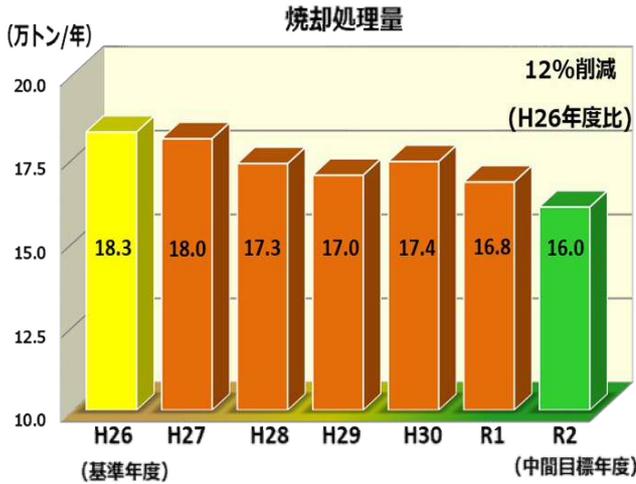


第6期計画の数値推移と達成状況



指標		H26	H27	H28	H29	H30	※R1	R2	...	R7
焼却処理量 (t)	目標値		182,385	177,648	173,734	168,134	164,701	160,495		140,500
	実績値	182,819	180,487	173,434	169,983	174,030	167,943			
	差引(t)		-1,898	-4,214	-3,751	5,896	3,242			
1人・1日あたり排出量 (g)	目標値		1,040	1,025	1,013	990	977	965		898
	実績値	1,040	1,030	999	990	1,016	981			
	差引(g)		-10	-26	-23	26	4			
資源化率 (%)	目標値		14.6	15.7	16.8	18.0	19.1	20.3		26.1
	実績値	14.6	15.2	14.3	14.5	14.0	13.3			
	差引(%)		0.6	-1.4	-2.3	-4.0	-5.8			
最終処分量 (t)	目標値		33,924	33,043	23,350	22,597	22,136	21,571		18,883
	実績値	34,064	33,559	30,290	27,421	28,719	27,233			
	差引(t)		-365	-2,753	4,071	6,122	5,097			

令和元年度目標値に対する達成状況	
焼却処理量	未達成
1人・1日あたり排出量	未達成
資源化率	未達成
最終処分量	未達成

【※令和元年度時点の目標達成状況について】

焼却処理量および1人・1日あたり排出量は平成29年度まで目標値を達成していたが、平成30年度については、平成30年8月に開始した大型ごみ収集有料化による駆け込み排出や、台風21号等の影響で家庭系ごみの排出量が増加したことから未達成となった。令和元年度は大型ごみの排出量が大幅に減少するなど改善が見られたが、目標達成には至らなかった。

資源化率については、上述の要因に加えて、集団回収量の落ち込みが大きく、平成28年度以降は未達成となっている。

最終処分量については、平成29年度より目標値に対して大幅に未達成となっているが、これは平成29年3月より稼働した新焼却工場での焼却灰発生率が計画策定時の予測値を大きく上回ったことが要因と考えている。